

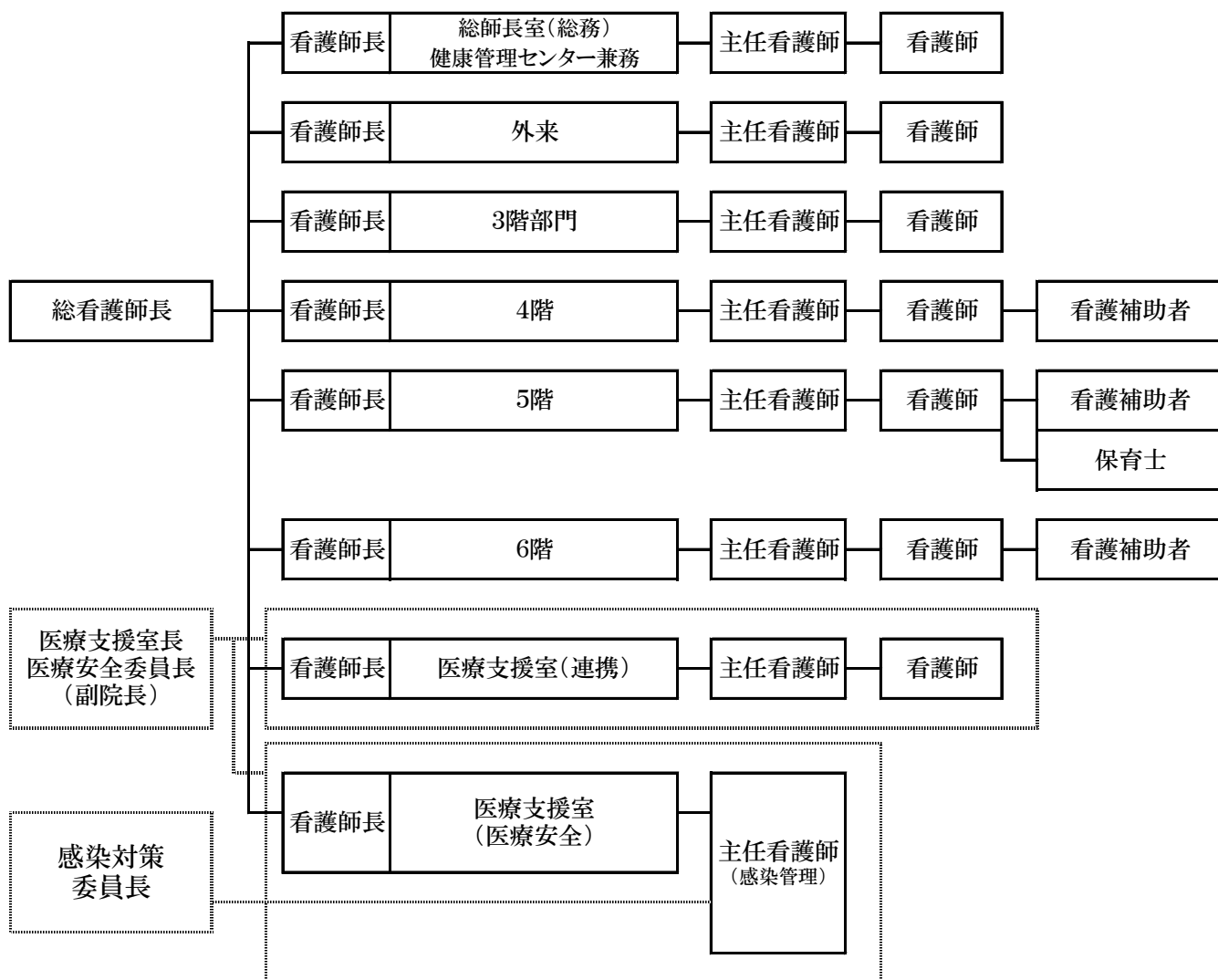
広島市立舟入市民病院

目次

1. 看護科組織	98
2. 病院基本理念、看護科理念・基本方針	99
3. 看護科教育	
1) 年間教育	102
2) 資格（看護協会、学会認定、ラダー等）	104
4. 看護活動	
1) 委員会	105
2) チーム医療	106
3) 認定看護師活動	108
4) 学会・誌上発表	109
5) 社会貢献（教育活動等）	110
5. 実習受入校	111
6. 地域連携	112
7. 部署の紹介	115
8. 看護科の1年間（2019年）	118

看護科組織図

2019年4月1日改編



※認定看護師が在籍する部署あり

広島市立舟入市民病院

病院基本理念

良心と信念に従って信頼される医療を提供します。

看護科理念

看護を必要とする人に安全な環境と、安心できる看護を提供します。

看護科 基本方針

1. ひとりひとりの権利を尊重します。
2. 看護の質向上にむけて、自己研鑽に努めます。
3. 他部門と連携し、チーム医療の充実に努めます。
4. 地域医療に貢献します。
5. 健全な病院経営に参画します。

平成31年度 看護科目標：Hospitality Mindのもと、ひとりひとりの価値観を患者さん中心の、丁寧な、質の高い看護を提供する

2019.4月～2020.3月

視点	戦略	戦略目標	評価の視点	評価指標	目標水準	最終評価	課題
医療機能の拡充（顧客の視点）	患者満足度の向上	安心・安全な看護の提供	外来患者満足度調査	患者アンケート	80%	78.2% (昨年度73.1%)	アンケート回収55名（有効回答55名）非常に満足41.8%、やや満足36.4%であった。昨年度と比較して、非常に満足が低下、非常に満足が増加した。目標値には達しなかった。
			入院患者満足度調査	患者アンケート	80%	82.7% (昨年度81.7%)	アンケート回収52名（有効回答52名）非常に満足51.9%、やや満足30.8%であった。昨年度より満足度は上昇した。
			苦情件数	あなたの一言（医療安全対策室の対応件数）	5件以下	1件	昨年度（2件）より減少した。転院時、食事に関する事だった。
			接遇研修の開催・参加	開催回数・参加率	1回 (日勤80%以上)	78.60%	研修を1回行った。参加できなかった人には資料配付を行った。
			アクシデントの減少（Ⅲb以上）	発生件数	0件（昨年8件）	5件	昨年度より減少した。今後も減少するよう取り組んでいく。
				薬剤に関する事	0件（昨年2件）	0件	内服間違いに関する事例は多くあったがアクセント事例には至らなかった。今後も薬剤師と協働しながら対応策を検討していく。
				転倒転落	0件（昨年3件）	0件	転倒転落に関する事例は多くあったがアクセント事例には至らなかった。今後もアセスメントをしっかりと行い対応策を検討していく。
				情報漏洩・文書紛失	0件	1件	患者間違えてCD-ROMを渡してしまい、別の医療者で間違いが発覚した。
			IA事例改善策の実施	IA改善策の実施	1事例/1部署 (5事例)	20事例	各部署1事例以上話し合いを行った。その内容を師長主任会で共有し話し合いを行った。
			褥瘡発生率の低下	褥瘡発生件数・率	0.5%以下	0.50%	昨年度（0.7%）より減少した。
	患者視点の医療・看護の提供	入院支援の体制整備・運用	対象者の拡大	30件/月	22件/月	242件/年 入院支援の拡大（内視鏡カプセル）を行った。	
		退院前カンファレンスの実施	件数/全体/年	85件	48件		
		療養環境チェック	月1回ラウンド	12回/年	100%	各部署で担当者を決め実施した。	
		掲示物の整備	定型に合わせる (毎月確認)	1回/月	100%	各部署で担当者を決め実施した。	
	職員満足度の向上	働きやすい職場環境作り	長時間労働の是正	サービス残業ゼロ	ゼロ	ゼロ	サービス残業ゼロの啓蒙を行った。
			年休消化	取得平均日数	15日以上	16.1日	目標クリア。昨年度（16.9日）とほぼ変わらなかった。
			時間外勤務の削減	時間外勤務時間/人/月	20時間以内		20時間以内をクリアできなかった看護師が数名みられた。今後、業務改善などを行いながら時間外削減に取り組んでいく。
			メンタルヘルスチェックの実施	実施参加率	100%	97.5%	昨年度（81.3%）より上昇した。今後もしっかり声かけを行っていく。
メンタルヘルス研修参加			参加者数	10人以上		今年度は参加できていない。	
職員満足度の把握（チャレンジアンケート）			参加者率	90%以上	100.0%	回答率は全職員が行った。内容に関しては昨年度と変化は見られなかった。今後も各部署にて対策を講じていく。	
運営体制の強化（内部プロセスの視点）	地域への貢献	他施設との連携会議・カンファレンス開催（医療支援室）	開催回数	4回以上	13回	目標回数はクリアしたが昨年度（25回）より減少した。	
		看護協会活動などへの参加	参加回数	5回以上	5名参加	まちの保健室・フラワーフェスティバル・原爆の日の救護などの派遣を行った。	
		地域連携研修会の開催（認定看護師会）	開催件数	3回	3回	認定看護師を活用した地域連携研修会を3回（ACP・排泄ケア・摂食嚥下）開催した。参加者：合計110名	
	多職種との協働	クリニカルパスの作成・活用	適用率	40.00%	47.0%	クリパスの見直しを行った。	
	看護の質改善の取組み	防災訓練	開催数	2回/年		2回開始：3部署 1回開催：2部署 来年度は全部署2回実施するよう徹底する。	
		患者中心の看護体制・業務改善	部署ごとの見直し件数	1件以上/部署 (全体で5件以上)	19件（全部署）	各部署で取り組んだ主な内容 外来：内科処置室での個人情報取り扱い・渡航者ワクチン外来のマニュアル 3F：麻酔科のテンプレート 4F：チームナーシングのマニュアル化 5F：退院指導パンフレットの見直し・選出業務の見直し 6F：保清回数の見直し	
		チームナーシングの導入・業務改善	導入目的	9月まで		各部署とも9月まで話し合いを行った。	
			運用開始	10月		10月から各部署とも運用開始した。今後、課題点を抽出しよりよいものにしていく。	
		医療安全研修会参加（フォローアップ含む）	参加人数（率）	100%	70%	年2回予定だったが、新型コロナウイルスにて1回中止になった。参加できなかったスタッフに関しては資料配付を行った。	
		感染研修会参加（フォローアップ含む）	参加人数（率）	100%	69%	年2回開催した。参加できなかったスタッフに関しては資料配付を行った。	

医療を支える人材の確保・育成など（学習と成長の視点）		臨床倫理研修会の参加	参加率	90%（日勤者）	1回	小児虐待研修 96名参加	
		倫理事例検討	検討事例数	1事例以上/部署		各部署1事例ずつ行った。	
		看護研究	発表題数	1題以上	1題	中支部にて発表 2020年度から講師を招いて研究のサポートを行っていく。	
		看護記録に関する研修会（師長・主任会）	参加人数	師長・主任100%	77.50%	師長・主任会を利用し、師長による研修会を実施した。	
		記録の充実（看護の見える記録）	カルテ監査（不可項目）	0項目	なし	今年度から記録委員の増員を行い、記録に関して強化したためか不可項目は無かった。	
	人材の育成	人材の確保育成	人材確保（病院説明会の開催、インターンシップ）				病院説明会（1回）10名 インターンシップ（3日）5名
			教育担当者研修への参加	参加人数	1人以上	1人	看護協会で行われた教育担当者研修に1名参加した。
	看護実践能力の向上	専門職業人としてのスキルアップ	看護師の離職防止	離職者数（率）	10%以下	4.60%	7名離職。昨年度（4.8%）より低下した。
			認定看護師の養成（認定看護管理者）	参加人数	1人	1人	認定看護管理者研修に1名参加した。
			院内・院外研修への参加	参加回数/率	参加人数：年4回以上の人が90%以上いる	90.30%	全部署、研修参加に関する啓蒙を行い目標をクリアできた。
資格研修への参加（安全・災害・など）			参加人数	2人以上	4人	災害支援ナース3名・医療安全管理者養成研修 1名	
院内認定看護師の育成（IV・皮膚・排泄ケア・緩和ケアなど）			育成人数	20人以上	17名	皮膚排泄ケア2名・緩和ケア4名・IV10名・小児1名	
院内留学（研修）企画・実施			参加人数	10人以上（全部署）	2名	レスパイト研修（5F）1名 トリアージ研修（外来）1名	
4病院院内留学（研修）参加			参加人数	1人以上	3名	外来でのトリアージ（成人）研修 2名・医療支援室 1名（広島市民病院）	
看護師ラダーの運用・作成			マネジメントラダーの運用手順の作成	レベルⅠの実施、レベルⅡの作成	マネジメントラダー必須研修作成	マネジメントラダー必須研修を作成した。全体的に今後検討をしていく。	
			クリニカルラダーⅢ迄の作成・運用	ラダーレベルⅣまでの評価指標作成…研修の実施	レベルⅣ研修・評価指標作成	レベルⅤ評価指標作成、研修内容検討中。レベルⅢは運用開始した。	
BLS研修参加（院外・院内・部署いずれかで）			参加率	100%（年1回/人）	85%	全体研修1回（85%）だったが、各部署で1回以上の研修を行い全職員が参加できるように徹底した。	
健全な病院運営（財務の視点）	収入増進への貢献	入退院調整を図る	病床利用率	利用率	82.00%	76.9%	昨年度と横ばい状態となった。今年度に入り新型コロナウイルスの影響で病床調整のため患者数減少した。
			平均在院日数	在院日数	17日	15日	昨年度（14日）より日数は伸びたが目標はクリアした。
			急性期入院料1の維持	重症度・医療・看護必要度の維持	必要度Ⅰ29～28%Ⅱ25%	31.20%	必要度Ⅱの算定において、急性期入院料1の継続を行うことができた。
			必要度判定者のスキルアップ（4・5・6F病棟看護師）	必要度研修参加	研修参加対象者100%	54.5%	全体研修を2回実施。各部署で数回研修を行った。
				テストの実施回数（100点まで行う）	テストの実施1回/年（7月）		各部署、啓蒙を行ったが、全職員100点まで実施には至らなかった。今後は評価の仕方の検討が必要。
	経費の削減	資材・資源の適正使用管理	コスト請求漏れの防止（不明在庫なし）	紛失率	2018年度より減少	0.1%（2018年度1.7%）	昨年度より減少した。今後も減少するよう取り組んで行く。
			定数の見直し・余剰在庫の削減	期限切れ在庫数	品目数および金額（2018年以下）	16項目 149265円	

2019年度教育計画

区分	対象者	研修方法	研修名	月日	時間	担当・講師	備考
レベルⅠ	新規採用者	必須 OFF-JT	新採用職員辞令交付式・オリエンテーション	4月1日～4月11日	8:30～17:15	教育委員会	
			別途(新採用者オリエンテーション日程表に準ずる)			4/8は広島市民病院(倫理・メンタルヘルス)	
			検査・放射線部門	5月13日(月)	8:30～12:00		
			検査の基礎知識・心電図の知識と技術	"	9:00～11:00	検査科(検査技師)	
			放射線安全対策と看護	"	11:00～12:00	放射線科技師長・()看護師	
			輸液ポンプの操作と注意点	"	13:00～16:45	外部講師【トップ(株)】	
			ローテーション研修	5月20日～5月24日			
			看護技術研修	5月29日(水)	9:00～12:00		
			看護技術 経管栄養・PEG・導尿・浣腸(排便)	"	9:00～12:00	(6F)看護師 ・(4F)看護師	
			救急蘇生・AED操作	"	13:00～16:45	(4F)看護師 ・(5F)看護師	
			集合研修と3か月振り返り研修	6月7日(金)	8:30～16:45		
			危険予知訓練(KYT)	"	9:00～12:00	医療安全委員会 : 看護師長 (主任)看護師	
			輸血の知識	"	13:00～14:00	院外(日赤Hp)	
			輸血施行の手順と看護	"	14:00～14:45	()看護師 ・()看護師:基準手順委員会	
			3ヶ月振り返り研修(グループワーク)	"	14:45～16:45	教育委員会	
			医療機器の取り扱い研修	6月24日(月)	13:00～16:45	外部講師	
			シリンジポンプ	"	13:00～14:30	外部講師【JMS(株)】	
			輸液ポンプ:フォローアップ	"	14:30～16:45	外部講師【トップ(株)】	
			シミュレーション研修(1回目)	6月28日(金)	8:30～16:45	教育委員会	
			集合研修と8か月振り返り研修	9月30日(月)	8:30～16:45		
			看護倫理(基礎知識・事例検討)	"	9:00～12:00	緩和認定看護師: 主任看護師	
			振り返り研修(グループワーク)	"	13:00～16:45	教育委員会	
			看護技術研修	10月28日(月)	8:30～16:45		
			栄養管理・摂食嚥下	"	9:00～10:00 10:00～12:00	管理栄養士: 管理栄養士 摂食嚥下認定看護師: 吉村明主任	
			エンゼルケア	"	13:00～15:00	緩和認定看護師 : 主任看護師	
			注射技術(留置針)	"	15:00～16:45	看護師 ・ 看護師	
			シミュレーション研修(2回目)	2020.2月7日(金)	8:30～16:45	教育委員会	
1年振り返り研修・ケースレポート説明	2020.3月2日(月)	13:00～16:45	教育委員会				
新規採用者	OJT	部署の新人教育スケジュール(バス)による計画的な教育					
		部署に特化したチェックリスト					
		なつて欲しい良い看護師像を語る会					

区分	対象者	研修方法	研修名	月日	時間	担当・講師	備考	
レベルⅡ	2年目 3年目	必須 OFF-JT	【2年目】					
			看護過程の展開(基礎編)	5月17日(金)	8:30～16:45	()主任看護師		
			認知症ケア	* 県看護協会で受講する(2年目で受講できなかった人は、必ず3年目までに受講すること)				
			フィジカルアセスメント	* 市民病院での合同で研修 (9/17又は9/18)				
			ケースレポート(1事例)	看護科教育ファイル(緑色)を確認して提出				
			【3年目】					
			キラーシンプトムとSBAR研修	* 広島市民病院認定看護師へ依頼可能か (日程調整必要)				
			ケーススタディ	11月8日(金) 11月15日(金) 11月22日(金)	17:30～18:30	教育委員会	17:30～ 18:30 発表	
			看護観	看護科教育ファイル(緑色)を確認して提出				
			OJT	[2～3年目]				
部署で2年目・3年目に望む看護師像を明示する 部署のチェックリストによる評価・振り返り								

区分	対象者	研修名	月日	時間	担当・講師	備考	
レベルⅢ	4年目～10年目	リーダーシップ研修	10月21日(月)	13:00～16:45	教育委員会		
		看護倫理研修	10月16日(水)	13:00～16:45	主任看護師		
		IVナース研修	3回シリーズ、時間外研修予定。				
		看護研究研修	* 県看護協会又は他の研修機関で受講する(研究入門など)				
		プリセプター研修					
		プリセプター研修・コーチング研修	H31.3月15日(金)	13:00～16:45	(コーチング研修講師: 師長)		
		3か月振り返り研修	6月14日(金)	13:00～16:45	教育委員会		
		6か月振り返り研修	10月3日(水)	13:00～16:45	教育委員会		
		1年振り返り研修	H32.3月5日(木)	13:00～16:45	教育委員会		
		退院支援研修					
		退院支援研修Ⅰ(退院支援の必要性と流れ)		17:30～18:30	医療支援室 師長		
		退院支援研修Ⅱ(介護保険等外部支援について)		17:30～18:30	医療支援室 ()MSW		
		退院支援研修Ⅲ	* 県看護協会又は他の研修機関で受講する				
		退院支援研修Ⅳ	退院支援見学実習(トータル8時間?)				
OJT	看護研究クリティーク	部署内で2人程度で行う					
OJT	リーダーシップ研修(課題レポート)						
OJT	看護研究(主) ザ改善(主・副)						

区分	対象者	研修名	月日	時間	担当・講師	備考
レベルⅣ	11年目	必須 OFF-JT	問題解決技法			
		必須 OFF-JT	目標管理			
OJT	看護研究					

区分	対象者	研修名	月日	時間	担当・講師	備考
レベルⅤ	11年目	必須 OFF-JT	問題解決技法			
		必須 OFF-JT	目標管理			
OJT	看護研究					

全体研修

区分	対象者	研修名	月日	時間	担当・講師	備考
	全職員	総師長講演・平成30年度各部署報告	4月19日(金)	17:30～18:30	各部署・5分×7部署	
		看護必要度	6月7日(金) 6月28日(金)	17:30～18:30	(6F主任)看護師	(いずれか1つ参加)
		研修報告	11月27日(水) 2020.1月24日(金) 2020.3月6日(金)	17:30～18:30		
		看護研究	5月17日(金) 2020.2月14日(金)	17:30～18:30		
		ザ改善報告	10月30日(水) 2020.1月29日(水)	17:30～18:30		

* 当院はキャリアラダーを導入していますが、一部経年別(段階別)教育を併用しています。

資格

資格	人数	備考
ファースト修了者	24	看護協会
セカンド修了者	12	看護協会
サード修了者	4	看護協会
認定看護師	8	看護協会
リスクマネージャー資格	8	病院協会・看護協会
ゼネラルリスクマネージャー	1	日本医療安全管理者協会
NST	8	学会認定
呼吸療法認定士	4	学会認定
看護教員資格者	1	看護教員養成講習会
実習指導者講習会修了者	21	看護協会
人間ドックアドバイザー	1	日本人間ドック学会
救急救命士	2	国
ケアマネージャー	3	県
災害支援ナース	10	広島県看護協会
消化器内視鏡技師	1	学会認定
滅菌技師Ⅱ	1	学会認定
特定化学物質等作業主任	1	県労働基準協会
JTASプロバイダー(緊急度判定支援システム)	9	学会認定
BLSインストラクター(一次救命処置)	1	日本ACLS協会・学会認定
BLSプロバイダー(一次救命処置)	43	日本ACLS協会・学会認定
PEARSプロバイダー	3	日本ACLS協会・学会認定
ACLSプロバイダー(二次救命処置)	7	日本ACLS協会・学会認定
PALSプロバイダー(小児二次救命処置)	4	日本ACLS協会・学会認定
医療対話推進者認定	3	日本医療機能評価機構
弾性ストッキングコンダクター認定書	2	日本静脈学会

院内資格 クリニカルリーダー

2020年3月末現在

	人数	%
レベル I	7	5.5%
レベル II	109	86.5%
レベル III	9	7.1%
レベル IV	0	0.0%
レベル V	2	1.6%

院内認定看護師

小児救急看護	12
摂食嚥下障害看護	10
緩和ケア	4
皮膚・排泄ケア	2
IVナース	24

令和元年度 看護科委員会活動の目的と内容

令和2年4月

委員会名	目的	活動内容	活動実績
教育委員会 第1水曜 15:30~16:45	1.病院理念、看護科理念に基づき看護職員が組織人・専門職業人としての責任を果たす能力を培うことを支援する	1.ラダー1~Ⅲの年間計画 2.担当者を決め実施予定内容について検討。 3.実施研修後の評価	1.新人職員研修オリエンテーション~1年振り返りまで計画に沿って実践。 2.ラダーⅡ計画に応じた実践（フィジカルに関しては広島市民病院への研修へ参加） 3.ラダーⅢ計画に応じた実践
基準・手順委員会 第2水曜 15:30~16:45	1.看護における基準・手順の整備を行い安全でよりよい看護の提供を目的とする	1.基準・手順の見直しと修正 2.検査説明用紙の見直しと修正	1.ナーシングスキルの修正（顆粒球除去・心臓CTなど） 2.検査説明用紙の修正（胃カメラなど） 3.情報収集の手順の作成
医療安全対策看護部会 第2金曜 15:30~16:45	1. I A 報告に対して十分な対策を検討し、情報の共有を行う 2.医療安全管理マニュアルの周知及び問題点の検討を行う	1.各部署の I A 報告及び再発防止策の報告 2.情報提供 3.マニュアルの検討	1. I A 報告件数のグラフ化 2.医療安全ニュース（年2回発行） 3.薬札色の統一化 4.部署ラウンド 5S、個人情報、薬剤など 5.各部署で KYT 実施（年2回）
感染対策看護部会 第1木曜 15:30~16:45	1.感染対策に対して十分に検討し、感染対策の向上及び情報の共有を行うこと	1.標準予防策の周知徹底 2.看護用具の取り扱い・処置手順の内容検討	1.手指消毒の徹底、PC 周辺の環境整備、ナーシングスキルの有効活用 2.看護用具の取り扱いを徹底するためにアンケート調査 3.ICT ラウンドに参加
記録委員会 第2月曜 15:30~16:45	1.看護実践の質向上と実践した看護の責任を明確にすること	1.看護記録の評価・監査 2.看護記録記入基準の修正	1.看護記録記入基準の修正 2.記録に要する時間外短縮 3.略語集の修正
クリニカルパス看護部会 第4月曜 15:30~16:45	1.医療の標準化・効率化・チーム医療の推進を行うこと	1.クリニカルパスの新規作成 2.記録の監査 3.クリニカルパスの見直しに関すること	1. 新規クリニカルパス2件作成 2. 記録の監査 5回実施 3. 様式の統一、語句の統一化
医療機器看護部会 第3木曜 15:30~16:45	1.医療機器に対して安全使用の向上および医療機器に関する情報の共有を行う。	1.医療機器の安全使用・保守点検の周知 2.医療機器の安全使用のための研修会実施	1.点検表の作成 2.研修会の実施
広報部会 第1金曜（奇数月） 15:30~16:45	1.看護部に関する広報を行う 2.他部門へ当院看護部の情報を広報することにより、看護部への理解を深めてもらう	1.ニュースレターの発行を原則年3回とし、臨時発行は妨げない 2.ホームページの看護部に関する内容を最新の状態に更新する	1.ニュースレターを年3回発行（企画・構成・印刷・発行）
患者サービス部会 第3金曜（偶数月） 15:30~16:45	1.看護における質の高い接遇と患者サービスの向上を図る	1.接遇に関すること 2.患者サービスに関すること	1.接遇標語の提示（毎月12回/年） 2.白衣枚数及びクリーニング提出状況確認 3.身だしなみチェック 4.接遇アンケートの実施 5.七夕会・クリスマス会の運営
認定看護師会 第4木曜（6・9・12・3月） 14:00~16:00	1.認定看護師として専門知識の拡充と確かな技術の向上を図り、より良い看護の提供を行う	1.院内認定看護師研修を行い、看護師の知識・技術の向上を図る ・院内認定看護師研修 2.地域医療・介護に関わるスタッフと研修等を通じて連携を図る ・地域連携研修会	1.院内認定看護師研修会の開催 ・緩和ケア ・皮膚排泄ケア 2. 地域連携研修会の開催 ACPの進め方 排泄障害のある高齢者への援助 高齢者の食支援

令和元年度 チーム医療の活動概要と実績

チーム名	構成員	活動概況	実績・成果
院内感染対策委員会	医師・薬剤師・看護師 放射線技師・検査技師 理学療法士・管理栄養士 医療安全管理者 感染管理者・事務	1.感染対策に関する各部門からの問題提起、報告及びその対応について審議 2.ICT、AST から感染対策に関する業務の提案を受けた際の審議及び了承 3.ICC でした承された事項の各部門への周知及び実施への強力	1.全職員の IGRA 実施 2.感染対策マニュアル改訂
医療安全対策委員会 毎月第3木曜日	医師・薬剤師・看護師 検査技師・放射線技師 栄養士・理学療法士 事務・医療安全管理者 感染管理認定看護師	1.医療安全管理マニュアルの作成及び改訂 2.事例検討会での再発防止策検討報告及び討議 3.院内ラウンド活動 4.院内研修会企画 5.IA 報告 6.疑義照会報告 7.医療情報報告 8.他施設との地域連携ラウンドの実施	1.ポケットマニュアルの作成及び改訂 2.院内ラウンド活動後、5S の強化 3.車椅子なナンバー表示
夜勤検討委員会	総看護師長・看護師 事務 労働組合担当者 病院機構担当者	1.勤務表の確認 2.夜勤回数の確認	6 日以上連続勤務、夜勤回数、夏期休暇等の確認
安全衛生委員会	産業医・看護師 検査技師・薬剤師 放射線技師・保健師 事務	1.職員健診の受診状況 2.時間外勤務状況 3.針刺し切創報告 4.ワクチン接種	職員健診実施率の向上 時間外勤務削減
システム委員会 不定期開催 (必要に応じて召集)	医師・薬剤師・看護師 事務・検査技師 レントゲン技師・栄養士	1.院内全体に関わるシステムの事案、運用等の検討・討議 2.停電、システム更新等のシステム担当からの伝達	1.元号改正に向けてのシステム調整・連絡、作業分担決定 2.コアスイッチ故障に伴うネットワーク停止に向けての院内調整
患者サービス委員会 偶数月開催	医師・薬剤師・看護師 検査技師・放射線技師 事務	1.接遇マナー 2.身だしなみチェック 3.イベントの開催	1.接遇マナー研修会開催 2.接遇標語の提示(毎月) 3.接遇アンケートの実施 4.身だしなみチェック(年2回実施) 5.白衣の交換時期検討 6.七夕会とクリスマス会の参加
クリニカルパス委員会	医師・薬剤師・看護師 事務 栄養士	1.クリニカルパスの導入運用 2.新規クリニカル表の承認	1.クリニカルパスの利用率増加に向けての検討 2.新規クリニカルパスの確認・承認
虐待防止委員会	医師(内科・小児科・心療内科) 看護師 MSW・医事課職員	1.虐待被害の早期発見にあたる 2.4回/年の定期委員会 3.虐待事例発生時、臨時委員会を招集 4.研修会を企画し職員の意識向上を図る	1.定例委員会:3ヶ月毎に1回(年4回) 2.臨時委員会:ケースの退院後の具体的対応について医師・病棟看護師・児童相談所・保健センターなど関係機関担当者と話し合いを行った。 3.研修会開催 「児童虐待対策:ネグレクトを考える」 日時:10月7日 講師:中国労災病院小児科部長 小西 央郎先生 参加者:96名 4.小児 通報 2名 経過観察 10名 高齢者 経過観察 1名
摂食嚥下部会	内科医師病棟看護師 摂食嚥下障害看護認定看護師管理栄養士 理学療法士・作業療法士 薬剤師	1.嚥下回診:週1回 多職種チームによる嚥下機能評価 スクリーニング・嚥下訓練の計画立案と実施・ 栄養状態の改善策の提案 2.嚥下食・自助食器の検討	1.嚥下チームによる介入患者数 延313名 ・嚥下内視鏡検査 16件 ・嚥下造影検査 1件 2.嚥下食の形態の調整

	歯科医師・歯科衛生士(リハビリテーション病院より)	3.嚥下体操動画作成の取り組み	3.自助食器の導入
NST 部会	医師・薬剤師・看護師 管理栄養士・理学療法士 臨床検査技師	1.NST ラウンド：週 1 回 他職種チームで入院患者の栄養管理をサポートし、その診療の向上を図る 2.多施設での NST 専門療法士研修への参加	1.NST 介入患者 73 件/年 NST 介入数 179 件/年 2.管理栄養士 1 名
院内研修委員会	医師・看護師長・薬剤師 事務室 検査技師長 レントゲン技師長	1.年間の研修計画と役割分担 2.研修の実施 3.1 回/年の会議	1.会議にて研修の計画と 時間外対応研修の確認 2.各部門と日程調整を行いながら 研修の実施
SPD 運用会議	事務・薬剤師・検査技師 看護師 SPD 業者	1.SPД 業者からの報告 月別・分類別・部署別消費実績 部署別定数稼働状況、シール紛失調査報告 2.各部署、業者からの依頼や伝達事項について検討	1.運営会議 3 回開催 4/12 8/30 R2.1/29 2.期限切迫品に関してシールを貼 って表示 3.実績報告をみて定数の見直し
癌化学療法部会 3 ヶ月に 1 回開 催	医師 薬剤師 看護師	1.抗がん剤調剤の運用状況 2.レジメン作成 3. I V ナース養成	1.教育委員会主催で I V ナース養成 (認定者 合計 24 名)
緩和ケアチーム	医師 (内科・外科) 薬剤師・管理栄養士 理学療法士 緩和ケア認定看護師	1.緩和ケアカンファレンス ：週 1 回 (毎金) 多職種チームによるがん患者の疼痛管理や意 思決定支援などについての検討 2.研修会の実施	1.緩和ケアカンファレンス回数 35 回(延人 211 人) デスカンファレンス 2 回 2.研修会 2 回 麻薬 タペンタについて スピリチュアルペインについて
褥瘡	医師・薬剤師 皮膚・排泄ケア認定看護師 理学療法士・管理栄養士	1.褥瘡ラウンド・カンファレンス 2.褥瘡予防ケアの実践 3.創傷・オストミー・失禁ケアに関する指導・相談 4.研修会の講師、出前講座 5.新人研修 (スキンケア・褥瘡ケア)	1.週 1 回褥瘡カンファレンス・回診 対象者数：117 名 2.ストーマサイトマーキング 3 件 3.コンサルテーション依頼：10 件 4.研修会 3 回
小児救急 トリアージ チーム	医師 小児救急看護認定看護師 救急外来看護師	1.トリアージナース研修会を開催し、トリアージナ ースの育成およびスキルアップを図る 2.トリアージカンファレンスを定期的に開催し、必 要な知識の再確認と希少事例およびアンダー トリアージ事例の検討	1.トリアージナース育成研修会：6 回 2.トリアージナースフォローア ップ 研修会：1 回 3.トリアージカンファレンス：7 回 4.トリアージ件数：34.866 件

2019年度 認定看護師 活動実績

分野	実践	指導		相談
小児救急看護	<ul style="list-style-type: none"> ・小児救急患者トリアージ ・外来における虐待と育児支援が必要な子どもと家族への対応 ・子どもへのプレパレーション 	院内	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員フィジカルアセスメント研修：1回 ・トリアージ研修：7回 	<ul style="list-style-type: none"> ・トリアージカンファレンス 7回 ・虐待対応に関する相談
		院外	<ul style="list-style-type: none"> ・広島大学小児看護専門研修：3回 ・広島市政出前講座『子どもの命を守るために』：2回 ・広島市医師会看護専門学校小児看護学概論：4回 ・小児看護方法論Ⅰ：5回 ・小学生への職業紹介：1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て応援団 育児相談：1回
摂食嚥下障害看護	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下回診 週1回 延313名 ・スクリーニング ・嚥下訓練の計画立案と実施 ・栄養状態の改善策の検討 ・嚥下食の検討 ・自助食器の検討 ・嚥下体操動画作成の取り組み 	院内	<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修 ・病棟看護師への指導 ・院内認定看護師の育成指導 	<ul style="list-style-type: none"> ・嚥下カンファレンス ・病棟看護師からの相談 ・患者・家族からの相談
		院外	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携研修会 1回 「地域へつなぐ食支援」 	
緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟ラウンド (週1回、延べ92名) ・デスカンファレンス 	院内	<ul style="list-style-type: none"> ・新人職員倫理研修 2回 ・中堅職員倫理研修 1回 ・院内認定看護師研修 5回 ・新人研修 (エンゼルケア) 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケアチーム カンファレンス (35回/年・延べ211名) ・患者・家族からの相談
		院外	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携研修会 「その人らしく生きる」を支えるケア ACPのすすめ方 ・院外講師 瀬野川病院 看取りについて 倉掛のぞみ園 エンゼルケア 	
皮膚排泄ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・病棟：褥瘡回診 カンファレンス (1回/週、延べ288件) ・体圧分散マット管理 ・コンサルテーション ストーマケア(新規造設3件) 創傷ケア (褥瘡56件、スケーア65件) 瘻孔ケア(食道瘻1件) 失禁ケア(陰部ピランなど6件) フットケア (下腿潰瘍など8件) 	院内	<ul style="list-style-type: none"> ・新人研修：スキンケア、ポジショニング ・院内認定看護師の育成指導 ・適切な耐圧分散マットの選択 	<ul style="list-style-type: none"> ・褥瘡カンファレンス：1回/週 (51回/年) ・創傷ケア：92件 ・ストーマケア：13件 ・瘻孔ケア：1件 ・失禁ケア：6件 ・フットケア：8件
		院外	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携研修会 1回 「失禁ケア」 ・出前講座：1件 「スキンケア」 ・院外研修・カンファレンス：1件 「褥瘡に必要な処置方法」 	<ul style="list-style-type: none"> ・院外施設褥瘡ラウンド：1回 (カンファレンスを含む)
感染管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTラウンド (1回/週) ・ASカンファ (1回/週) ・相互評価 (1回/年) 	院内	<ul style="list-style-type: none"> ・新入職者研修会 1回 ・感染対策研修会 6回 ・抗菌薬適正使用研修会 7回 ・PICC管理 2回 ・IVナース養成コース 1回 ・ふれあい看護体験 1回 ・PPE着脱訓練 6回 ・看護補助者研修 2回 ・アルコール消費量について 2回 	<ul style="list-style-type: none"> ・院内感染対策に関すること (1回/週)
		院外	<ul style="list-style-type: none"> ・舟入むつみ園 3回 ・神田山やすらぎ園 3回 ・たかの橋中央病院 1回 ・市看専第2看護学校 1回 	<ul style="list-style-type: none"> ・合同カンファレンス (4回/年)

2019年度看護科学学会発表等 舟入市民病院

院外発表

No	月	日	部署	報告者(筆頭:主)	演題名	学会名(開催地)
1	2	14	3F	検査科 加藤 暖子・ 政本 伸二	小児救急医療拠点病院における血液培養の状況調査と課題	日本環境感染学会総会・ 学術集会
2	2	14	3F	検査科 田上 芳子・ 政本 伸二	ESBL産生菌検出状況の検討	日本環境感染学会総会・ 学術集会
3	2	15	5F	河本 宏子	小児急性期病棟でのレスパイトケアに対する看護師の認識 —病棟看護師へのインタビュー調査から—	広島県看護協会 中支部

2019年度 教育活動(講師その他) 舟入市民病院

	西暦年	月	日		内容	名前	主催
1	2019	4	26	講師	小児看護方法論Ⅰ		広島市医師会看護専門学校
2	2019	5	10	講師	小児看護方法論Ⅰ		広島市医師会看護専門学校
3	2019	5	13	講師	食中毒について		舟入むつみ園
4	2019	5	17	講師	小児看護方法論Ⅰ		広島市医師会看護専門学校
5	2019	5	18	報告	ICTラウンドの現状について		広島ICNの会
6	2019	5	24	講師	食中毒について		神田山やすらぎ園
7	2019	6	2	育児相談	『子育て応援団すこやか2019』		広島県看護協会
8	2019	6	7	講師	小児看護方法論Ⅰ		広島市医師会看護専門学校
9	2019	6	8	ファシリテーター	小児看護専門研修(基礎編)		広島大学
10	2019	6	14	講師	小児看護方法論Ⅰ		広島市医師会看護専門学校
11	2019	6	17	講師	小児のスキンケア		高陽公民館
12	2019	6	20	講師	標準予防策と个人防护具について		神田山やすらぎ園
13	2019	7	6	ファシリテーター	小児看護専門研修(基礎編)		広島大学
14	2019	7	8	講師	感染防止対策地域連携相互ラウンド 舟入市民病院ICTが中電病院へ赴き評価する		中国電力株式会社 中電病院
15	2019	8	24	ファシリテーター	小児看護専門研修(基礎編)		広島大学
16	2019	9	9	講師	インフルエンザについて		舟入むつみ園
17	2019	9	25	講師	子どもの命を守るために 乳幼児に起こりやすい事故と病気		安公民館
18	2019	10	5	報告	全職員講習会について		広島ICNの会
19	2019	10	25	講師	インフルエンザ・ノロウイルス感染対策について(講演・実技)		神田山やすらぎ園
20	2019	10	25	講師	インフルエンザについて		たかの橋中央病院
21	2019	11	11	講師	ノロウイルスについて(講演)		公益財団法人広島原爆被爆者援護事業団 広島原爆養護ホーム 舟入むつみ園
22	2019	11	20	講師	統合看護総論Ⅰ 感染管理講義		広島市立看護専門学校
23	2019	12	11	講師	児童に看護師の仕事の内容を紹介する		広島市立五日市小学校
24	2020	1	10	講師	看護学生の小児分野(小児看護学概論)の授業		広島市医師会看護専門学校
25	2020	1	17	講師	看護学生の小児分野(小児看護学概論)の授業		広島市医師会看護専門学校
26	2020	1	24	講師	看護学生の小児分野(小児看護学概論)の授業		広島市医師会看護専門学校
27	2020	1	31	講師	看護学生の小児分野(小児看護学概論)の授業		広島市医師会看護専門学校
28	2020	1	30	講師	子どもの命を守るために 乳幼児に起こりやすい事故と病気		広島市文化財団 福田公民館
29	2020	1	31	講師	看護学生の小児分野(小児看護学概論)の授業		広島市医師会看護専門学校
30	2020	1	31	講師	広島空港新型インフルエンザ等感染症対策協議会総会		広島空港新型インフルエンザ等 感染症対策協議会事務局
31	2020	2	27	講師	呉港検疫感染症対策・港湾衛生管理協議会 検疫措置訓練(机上訓練)		令和元年度呉港 新型インフルエンザ検疫措置訓練

広島市立舟入市民病院 臨地実習受け入れ状況 2019年度

	施設名	教育課程	分野	実習部署	日数	人数	延べ人数
①	市立看護専門学校	第1看護学科	基礎 I-①	4F・6F	2	13	26
			基礎 I-②	4F・6F	6	13	78
			基礎 II	4F・6F	8	6	48
			小児看護	5F	7~8	56	406
			補習	5F	8	1	8
		第2学科	老年看護	4F・6F	11~12	34	380
			補習	6F	8	1	8
延べ合計							954
②	文化学園大学	大学	小児看護	5F	4	26	104
③	安田女子大学	大学	成人II	4F	8	6	48
④	都市学園大学	大学	小児看護	5F	3~4	20	75
⑤	東亜・福岡通信看護学校	通信	成人看護	4F	2	1	2
			老年看護	6F	2	1	2
			小児看護	5F	2	1	2
			統合と実践	4F・6F	2	1	2
延べ合計							8
⑥	穴吹通信看護専門学校	通信	小児看護	5F	2	17	34
⑦	広島市医師会看護専門学校	准看課程	基礎 I-①		1	47	47
延べ総合計 (人)							1270

地域連携について ～医療支援室から～

舟入市民病院医療支援室概況

平成 26 年 4 月に広島市民病院・安佐市民病院・広島市総合リハビリセンターとともに、4 病院を統合した形で独立法人化され、地方独立行政法人広島市立病院機構・広島市立舟入市民病院という呼び名になった。

同時に医療連携室は医療支援室と組織改編し、広島市民病院の後方支援病院としてさらに連携を強化するとともに、大学病院や地域特に中区、西区を中心とする診療所の先生方との連携を密に進めながら紹介患者の増加に努め、適正な在院日数の管理、病床利用率の向上を図ってゆくための役割を担う。

組織図（構成メンバー）

医療支援室	室長：1 名（副院長兼務）
	看護師長：1 名
	医療ソーシャルワーカー：2 名
	退院調整看護師：2 名
	連携関連看護師：3 名
	連携関連事務員：2 名
	外部訪問事務員：1 名

（平成 31 年 4 月現在）

医療支援室の基本方針

1. 地域との医療連携を強化し、一貫した医療を提供する
2. 事前にご紹介いただき、受付手続きに簡略化・迅速化をはかり対応する
3. 開かれた病院を目指し、研修会等の開催により積極的に地域と関わりをもつ

主な業務内容

1. 紹介医の連絡窓口となり、受診日の事前受付、入院予約、当日入院についての調整
2. 他の医療機関への患者紹介、受診予約
3. 対診（入院患者が、他の医療機関への受診）
4. 総合相談（患者サポート体制窓口）
5. 入院・退院支援
6. 外部医療機関・施設への訪問等（パンフレット配布や情報交流など）
7. 医師事務作業補助業務
8. レスパイト事業窓口、管理運営
9. 中区在宅医療相談支援窓口運営

病院内連携の取り組み

1. 医療支援室運用会議の開催（2ヶ月に1回）
患者紹介に関する事項・入院患者に関する事項・退院調整に関する事項を主に伝達し情報の共有化を図ると共にそれぞれの立場で検討する場としている。
2. レスパイト関係者会議の開催（4ヶ月に1回）
レスパイトの管理・運営を円滑にするために障害福祉サービス等の改訂の情報共有を図り、利用者の意見を集約し、よりよいサービスの提供を目指し課題を検討する場としている。
レスパイト実務者会議を開始した（関係者会議開催月以外の毎月）
3. 病棟カンファレンスへの参加
（火）地域包括病床カンファレンス
（水）リハビリカンファレンス・退院支援カンファレンス（内科・外科）
（金）緩和カンファレンス
小児科退院支援カンファレンスは必要に応じて開催
4. 退院前訪問指導の開始（令和2年2月から）

病院外連携の取り組み

1. 地域連携オープンカンファレンスの開催 準備・運営
2. 医療支援室だよりの発行 2回 / 年
3. 中区、西区医師会との地域連携協議会開催
4. 外部訪問専門事務員による定期的訪問
医院・クリニックなどの医療機関を訪問し、主に広報的役割を担いパンフレットの配布や
当院のPR活動を行っている。
当院への紹介手順を伝えている
5. 小児救急医療協力医証の発行
6. 当院との連携施設証の発行
7. 開放病床登録医証の発行

医療支援室医療相談部門 業務実績

月別相談のべ件数

(単位:件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 29年度	159	192	225	207	213	218	184	185	233	203	283	259	2,561
平成 30年度	185	274	217	240	275	218	353	418	417	389	412	350	3,748
平成 31年度	392	323	395	404	315	328	326	308	346	337	236	264	3,974

退院支援加算

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 29年度	5	9	8	9	9	12	3	13	15	11	9	14	117
平成 30年度	18	23	21	20	23	14	30	19	32	23	27	26	276
平成 31年度	32	30	30	36	26	23	29	24	35	31	21	21	338

介護連携指導料（※退院時共同指導料含む）

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 29年度	6	10	6	6	7	8	5	4	7	7	6	4	76
平成 30年度	8	10	6	11	13	7	18	12	13	3	15	3	119
平成 31年度	8	5	5	5	5	6	10	8	8	6	9	6	81

入院時支援加算

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 30年度								1	0	2	0	2	5
平成 31年度	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2	1	1	7

退院前訪問指導料

（単位：件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 31年度											1	0	1

部署の紹介

外来	診療科数 7
■構成 内科外来・小児科外来・外科外来 小児外科外来 皮膚科外来（水曜日午後のみ） 耳鼻科外来（土曜日夜間のみ） 整形外科外来（木曜日 14：00～18：00）	■スタッフ（平成31年4月現在） 看護師長 1名 主任看護師 6名 看護師 33名 （夜間パート 8名含む）
■外来の特徴 小児救急拠点病院として、365日24時間の小児救急外来を実施しています。 また、乳児検診・予防接種・心エコー・脳波などを実施しています 内科・外科では、がん化学療法も実施しています。また在宅で安心して暮らせるように相談・支援を行っています。2019年度から渡航者ワクチン外来も開設しました	
■活動報告 <ul style="list-style-type: none"> 小児科ではトリアージシステムを導入し、カンファレンスや研修を行い適切な対応に心がけています。子どもの権利を守るよう、患児・家族と一緒に検査や処置に取り組めるよう支援しています。 内科や外科では時間外にウオークインで受診された方の対応に時間外対応をマニュアル化しお断りをしないように心がけています。 外来継続看護ができるようにカンファレンスを行っています。 救急車の要請もマニュアル化しています。（受入率：小児科97% 成人：80%） 	

3階部門	
■構成 手術室・中央材料室・麻酔科外来 内視鏡室	■スタッフ（平成31年4月現在） 看護師長 1名 主任看護師 3名 看護師 9名 （パート含む）
■部門の特徴 手術は、一般消化器外科・小児外科の手術を行っています。中四国のヘルニアセンターとして短期滞在で多様なヘルニア手術に対応しています。麻酔科外来では、ペイン治療のほか術前診察を手術室看護師が担当しています。内視鏡部門では、通常の検査治療に加え健診の胃カメラ検査を担当しています。	
■活動報告 短期滞在の手術が多く、麻酔科外来から手術室の看護師が関わり、当日入院の患者さんにも術前訪問を実施し不安軽減に努め患者自ら手術に臨めるよう介入しています。小児外科に対しては、子どもの権利を尊重し病棟との連携でプレパレーションの一貫である術前訪問と手術室探検を100%実施しております。 内視鏡看護では、検査・治療前後の訪問や外来患者さんに対しては、電話訪問を実施し治療後の経過を把握し生活面での指導を行っています。	

4病棟（外科 内科 HCU）	病床数 48床
■構成 HCU 5床 個室 10室 3床 6室 5床 3室	■スタッフ（平成31年4月現在） 看護師長 1名 主任看護師 6名 看護師 23名 （パート含む） （緩和ケア認定看護師 1名） 業務員 3名
■病棟の特徴 成人の一般消化器外科の入院が中心で、中でも鼠径ヘルニアの短期滞在手術が大半を占めています。緩和ケアを目的としたKM-CART（腹水濾過濃縮再静注法）も行っており、緩和認定看護師を中心にチーム医療を提供しています。HCUでは呼吸器管理が必要な方や術後の方の看護を行っています。重症心身障害児（者）の方のレスパイト入所も受け入れており、ご家族の方に喜んで頂いています。	
■活動報告 患者さんの誕生日会や足湯会の開催、廊下にはスタッフが撮影した写真を飾り、癒やされたと好評をいただいています。今年度よりチームナーシング制を導入し、病棟の目標である「患者さんの価値観を尊重した質の高い看護を提供する」を目指して日々がんばっています。	

5階病棟（小児科・小児外科）	病床数 44床
■構成 個室 14室 2床 4室 3床 1室 4床 1室 5床 3室	■スタッフ（平成31年4月現在） 看護師長 1名 主任看護師 6名 看護師 18名 業務員 3名 保育士 3名
■病棟の特徴 小児救急拠点病院として、365日24時間の緊急入院を受け入れています。夜間入院が60%以上、0～3歳までが65%を占めており、平均在院日数は4.5日前後です。入院生活のストレスや不安を緩和し、安心して毎日を過ごせるよう、病棟保育士と協働して発達段階や病状に応じた遊びの提供や家族支援も行っています。 2017年2月から障害児(者)医療型指定短期入所を開始し、在宅で暮らす重症心身障害児(者)の家族支援を行っています。入所中もできるだけ普段の生活に近い環境で過ごすことができるよう、1人1人に合わせたケアを行っています。	
■活動報告 ・各種プレパレーションツールの作成・活用により、患児が前向きに治療に取り組めるよう支援しています。 ・季節ごとのディスプレイ、七夕会を行い、退院時には「退院おめでとうカード」を渡し、「よく頑張ったね!!」と子ども・家族の頑張りを承認しています。	

6階病棟（内科）	病床数 48床
■構成 個室 12室 2床 1室 3床 2室 4床 3室 5床 1室 重症個室 1室 包括ケア病床5床 2室	■スタッフ（平成31年4月現在） 看護師長 1名 主任看護師 6名 看護師 18名 （摂食嚥下認定看護師 1名） （緩和ケア認定看護師 1名） （皮膚・排泄ケア認定看護師 1名） 業務員 3名
■病棟の特徴 血液、呼吸器、消化器、循環器などの内科疾患を持つ患者さんを受け入れています。入院患者さんの平均年齢が80才を超える高齢者の多い病棟です。化学療法や、輸血を行っている患者さんの支援や、誤嚥性肺炎を繰り返す患者さんに対する嚥下訓練、循環器疾患を持つ患者さんの生活指導などに力を入れています。また包括ケア病床が10床あり、住み慣れた地域に帰れるよう、本人の意志を尊重した退院支援を行っています。	
■活動報告 ・高齢の患者さんが多く、一人暮らしの方や老々介護また認知症を伴う方もおり、退院支援も複雑化していますが、主治医・リハビリスタッフ・医療支援室・栄養士・薬剤師とも連携を取りながら安心して退院できるよう支援を行っています。 ・院内のイベント（クリスマス会や七夕会など）や病棟での足浴会などを企画し入院生活に楽しみを見いだせるように関わっています。	

健康管理センター	
■構成 一般ドック （外来ドック、婦人科検診、脳ドック 他） 原爆被爆者ドック	■スタッフ（平成31年4月現在） 看護師長 1名 主任看護師 1名 看護師 6名 （パート含む）
■センターの特徴 当センターは、2015年に広島市民病院から移管され3年経過しました。受診者の方々からご意見をいただきながら「質の高い健診を提供し、健康寿命（健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間）の延伸に寄与する」をスローガンに、日々取り組んでいます。	
■活動報告 安心して健診を受けていただけるようプライバシーの配慮の他、丁寧な接遇を心がけています。健診者アンケートでは、すべての項目において満足度が95%を超えています。いただいたご意見については改善点を検討して対応しています。	

健診者からのご要望などを取り入れ、現在のオプションとして大腸ファイバー、肺がんCT、内臓脂肪CT、アミノインデックス、ロックインデックスなどを行っています。平成31年度から特定保健指導を開始しました。

医療支援室

<p>■構成</p> <p>紹介入院受付・検査・外来予約受付 入院、退院支援・総合相談 レスパイト受付窓口 患者相談窓口 中区在宅医療相談支援窓口 外部訪問</p>	<p>■スタッフ（平成31年4月現在）</p> <p>看護師長 1名 主任看護師 2名 看護師 3名 （皮膚・排泄ケア認定看護師 1名） MSW 2名 事務員 3名</p>
<p>■支援室の特徴</p> <p>地域の病院・診療所・介護施設・福祉施設・行政機関など異なる機能の連携を調整するコーディネーターの役割と紹介患者の迅速な受け入れ調整を行っています。 紹介医及び紹介状の管理・その他データ管理 地域との連携会議の運営（開放病床・協議会・オープンカンファレンス等） 入院、退院支援及び総合相談・患者相談窓口での対応 広島市の総合福祉事業に基づいてレスパイト事業の管理運営を行っています。</p>	
<p>■活動報告</p> <p>紹介患者数拡大（外訪したところからは前年度を上回るご紹介を得ました）や地域連携強化として開放病床会議・オープンカンファレンスを開催しました。 顔の見える連携・・・外部訪問、退院前カンファレンスを実施しました。 レスパイト実務者会議を開始し、よりタイムリーに課題解決ができる取り組みを初めました。 広島市の在宅医療相談窓口を開設しました。 ホームページ 診療情報書内容の見直しと最新情報の掲載をしました。</p>	

医療支援室（医療安全・感染管理）

<p>■構成</p> <p>医療安全管理 専従 感染管理 専従</p>	<p>■スタッフ（平成31年4月現在）</p> <p>看護師長 1名 （認定GRM） 主任看護師 1名 （感染管理認定看護師）</p>
<p>■支援室（医療安全・感染管理）の特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専従として、病院内における医療安全管理と感染管理を行っています。 ・安全で質の高い治療を提供するために、病院内での情報共有、マニュアル整備及び周知、全職員への研修及び教育を行っています。 ・他施設との連携（ラウンドやカンファレンスなど）を行っています。 	
<p>■活動報告</p> <p>医療安全管理・・・IA報告に対する再発防止策の実施 院内ラウンド、医療安全情報の提供、マニュアル整備 他施設との連携が開始（ラウンド実施） 医療に関する相談や苦情対応</p> <p>感染管理・・・院内ラウンド、マニュアル整備、感染対策の啓蒙 他施設との連携（カンファレンスの実施） 出前講座の実施 抗菌薬適性使用支援チーム活動</p>	

舟入市民病院看護科の1年（2019年度）

4月



新人研修

5月



BLS 研修

6月



看護技術研修

7月



七夕会

8月



ふれあい看護体験

9月

10月



第1回舟入市民病院
健康まつり

11月



公民館での健康サロン

12月



クリスマス会

1月

2月



COVID-19 対応の始まり

3月



新人修了式